



農地の集積・集約化に向けた担い手による意見交換会を開催

令和5年12月25日、日野町において西大路地区、日野地区の3名の大規模な担い手による意見交換会を日野町役場と連携して開催し、今後の農地の集積・集約化に向けたビジョン、課題について意見交換を行いました。当課は意見交換会の開催方法を役場に提案し、当日は助言者として務めました。

国道沿いの日野地区、西大路地区の農地を耕作者ごとに色分けした地図を基に、各担い手の拡大意向エリアについて話し合い、共有しました。

また、話し合いの中で出た大きな問題の一つが獣害でした。現状、獣害柵の管理ができておらず、被害が多い状況であり、広域的に管理をしないと防げないという認識を改めて共有しました。今後、さらに農地の集積が進めば、耕作者での維持管理がより困難になるため、場合によっては地主と担い手の間で調整する必要がある、地主と話したいなどといった意見が出されました。

今回は、主要な大規模な担い手3名で意見交換を行いました。次回は縮小意向を持つ担い手等とも改めて意見交換をし、今後の農地の管理について話し合いたいといった前向きな意見が出てきました。

当課は、担い手の意向を把握し、関係機関と連携しながら効率的・安定的な経営体制の確立に向け、担い手への農地の集積・集約を支援していきます。



地図を基に意見交換する様子